



九州大学ソフト工学公開講座2015 (第3回) 「環境新時代—くらしをまもるテクノロジー—」

概要

九州大学大学院工学研究院とカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (ICNER)では、「環境新時代—くらしをまもるテクノロジー—」と題し、中高生や一般市民、企業関係者などを対象とする公開講座を開催します。

CO₂、PM2.5、ごみ処理、生態系など、私たちのくらしに身近な題材を取り上げ、深刻化する環境問題に立ち向かう最新の技術開発の「今」を現場の研究者たちが分かりやすく紹介します。

背景

私たちの住む福岡でも気候変動や大気汚染が身近に感じられるほど環境問題は深刻になっています。

多様な側面を持つ環境問題に対しては、さまざまな技術開発の力をあわせて問題の解決を図る新たな時代を迎えています。今回の公開講座では、CO₂、PM2.5、ごみ処理、生態系など、私たちのくらしに身近な題材をもとに、深刻化する環境問題に立ち向かうための最新技術を分かりやすく紹介します。

内容

【日時】平成27年1月24日(土) 13:00~16:30

- 【プログラム】13:00~13:10 開会挨拶 山田 淳 工学研究院長
13:10~13:45 「CO₂—集めて・貯める新時代—」
谷口 育雄 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所・准教授
13:45~14:20 「PM2.5 —その正体と新たな測定法の開発—」
三浦 佳子 工学研究院化学工学部門・教授
14:20~14:30 休憩
14:30~15:05 「生態系を活かした防災・減災—『グリーン・インフラ』という思想—」
清野 聡子 工学研究院環境社会部門・准教授
15:05~15:40 「環境にやさしいエネルギーサイクルを考える」
山内 美穂 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所・准教授
15:40~15:50 休憩
15:50~16:25 「プラズマのちからがごみを消す—日本発ごみ処理新技術—」
渡邊 隆行 工学研究院化学工学部門・教授

【会場】JR博多シティ 9F 大会議室(2)
(福岡市博多区博多駅中央街1-1)

【受講料】無料(申し込みは、別紙チラシをご参照ください)

【対象】中高生・一般市民(定員72名)

【主催】九州大学大学院工学研究院、九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所

【共催】公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)

【後援】福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、糸島市教育委員会

【Webサイト】<http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/research/event.html>

(工学部・大学院工学府・工学研究院 Web サイト)

■効 果

環境問題に興味がある中高生や一般市民をはじめ、企業関係者など、幅広い参加者に最新の技術開発の現場を学んでいただける良い機会となります。

■今後の展開

九州大学大学院工学研究院、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所では、キャンパスで行われている工学研究を市民に分かりやすく伝えることを目的に「ソフト工学公開講座」を実施しています。（平成 25 年のテーマ：「エネルギー」、平成 26 年のテーマ：「医療・福祉ロボット」（工学研究院単独主催））

今後も市民の皆様をはじめ、企業の方など、幅広い方に身近なテーマで公開講座を企画していく予定です。

■講師について

今回の 5 名の講師は、いずれも工学研究院とカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所が誇る化学工学、生態工学などの各分野の第一線で活躍する新進気鋭の研究者達です。なかでも清野准教授や渡邊教授の研究はテレビや新聞などに多く取り上げられ、その技術開発には国内外からの注目が集まっています。

（主な出演番組）

清野 聡子 NHK テレビ「クローズアップ現代『“震災漂流物” 154 万トンの衝撃』」（平成 24 年 12 月 11 日放送）。（清野研究室 Web サイト：<http://www.icataquo.jp/index.html>）

渡邊 隆行 TBS テレビ「夢の扉+『10000℃の水プラズマで未来を照らせ』」（平成 26 年 11 月 9 日放送）。（渡邊研究室 Web サイト：<http://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab5/>）

その他新聞での解説など多数。

【お問い合わせ】

工学部等総務課研究企画係 鶴岡

電話：092-802-2709

FAX：092-802-2712

Mail：kenkyo@kj.kyushu-u.ac.jp